



あべの区 ワンワン交流会

犬のしつけやマナーなどを学びながら、愛犬家同士の交流を図っています

① 特集 居場所づくり 阿倍野区わんわんパトロール隊

③ OCVAC開設30周年記念事業 分科会報告

⑧ なにわ語り部の会35周年記念

⑨ 情報マーケット

ボランティア募集、イベント・セミナー・講座情報、助成金などの情報

⑬ 海外から日本へ 大阪の高校に学ぶ若者たち vol.11

突撃取材のコーナー「NPO法人 暴力防止情報スペース・APIS(アピス)」

地域住民がまちの課題に気づき、自らが主体的に取り組む地域活動。「きれいなまち」「安心・安全なまち」をめざして、愛犬をキーワードに新たな住民層を巻き込んで活動を進めています。

愛犬と一緒に、きれいなまちづくりを！

阿倍野区では、阿倍野区地域福祉計画「あべのつながり広がるプラン」をもとに、区民のニーズや地域の特性にあった地域福祉の推進をめざし、「つながり」「ふれあい」「思いやり」「支えあい」の4つのキーワードに基づいて、様々な地域福祉活動が行われています。

そのひとつとして「阿倍野区わんわんパトロール隊」は、「マナーを守ります」という証である黄色の「わんパトワッペン」※をマナーバッグにつけ愛犬と一緒に散歩することで、地域の見守りの目となり、安心安全できれいなまちづくりを推進しています。

※わんパトワッペンはグラフィックデザイナー・大内正彦さんの協力で制作されました。

阿倍野区わんわんパトロールを推進する会

阿倍野区では、2006（平成18）年に地域福祉行動計画推進



愛犬と一緒に参加できる交流会



代表の生島将光さん

委員会「きれいなまちづくりチーム」が土台となり活動を開始し、2016（平成28）年10月に区民ボランティアで構成する「阿倍野区わんわんパトロールを推進する会」が発足しました。これまでの活動をベースに、新たなメンバーを加え、わんわんパトロール隊の普及・啓発に取り組んでいます。現在は1,789人の登録メンバーと、1,974頭のパトロールを



オリジナルの「おさんぽバッグ」は300円で販売、売り上げは活動費に充てられます

行うワンちゃんが登録されています。

「阿倍野区わんわんパトロールを推進する会」代表の生島将光さんは、「きれいなまちづくりをめざすうえで、やはりペットのウチは気になります。飼い主のマナーが向上すればまちはきれいになり、住民の環境美化意識も向上します」と活動のきっかけを話します。また、阿倍野区はもともと防犯への意識が高い地域ですが「ペットを介して住人同士のあたたかな交流が生まれ、さらには、子どもたちの安心と安全を守る、見守り活動にもつながると思います。ワンちゃんとの触れ合いでコミュニケーションを図ることにより動物を愛する豊かな心を育んでもらえたら」と続けました。

ある時、普段の犬の散歩をするなかで「おやつ、この時間、あの人もいつも行き先が違う！」と気づき、徘徊する「認知症」の人を発見、事なきを得た事例が



お揃いのワッペンがわんわんパトロール隊の印です

ありました。「わんわんパトロール隊」では、これまでに「認知症サポーター養成講座」を開催、誰もが地域の見守り隊との意識啓発にも力を入れています。今後は地域の清掃活動ともコラボした取り組みも検討されているようです。



現在は13人のメンバーと、地域の協力者と一緒に活動を進めています

いことが大きな悩み」と言います。しかしここでは、ボランティアによる手づくりの「ドッグラン」が設けられ、人間だけでなく、ワンちゃん同士にとってもそれは賑やかな交流の場となっています。この日集まったのは、チワワ、トイプードル、スコッチテリア、フレンチブルドッグ、柴犬など約30頭。グラウンドの砂土の上を思いっきり走り回り、吠えたり、じゃれた

人も愛犬も交流を

この日は、阿倍野区民センター近くの丸山地域にある広場で「あべのわんわん交流会」が開催されました。都会で暮らす飼い主は「可愛いワンちゃんを自由に走らせてあげられる場所が少な

り、犬にとっても日頃のストレスを大いに発散させる場所になっています。

トリマーもボランティアとして参加

「愛犬の美容室RE^{レオ}JO^{ジョー}Y」を経営する藤原宏美さんは、JKC公認トリマーライセンスA級を保有し、ペットのマナー講習を行い、犬のしつけや動物愛護のための飼い主のマナー向上にも関わっています。こうした藤原さんのボランティア活動は、お母さんが同パトロール隊に登録していたことがきっかけでした。個々の相談に応じ、無駄吠え、噛みぐせ、トイレのしつけなどに助言を行い、トリマーとして全身を触ることで犬の触診にもつながり、腫瘍を発見できたこともありました。まさに人間と同じ、犬の健康診断を兼ねています。



優しい笑顔の藤原宏美さん



ワンちゃんの気になる部分をチェック

「阿倍野区わんわんパトロール隊」は、区役所や区社会福祉協議会と一体となって、わがまちの安全と安心とつながりを広げるため、「わんパト隊員」の募集を続けています。

ときどき、記者、古川繁美

「阿倍野区わんわんパトロールを推進する会」

連絡先 あべのボランティア活動センター
住所 阿倍野区帝塚山1-3-8
TEL 06-6628-3434
FAX 06-6628-9393

facebook

あべのわんわん交流会 で検索

分科会報告

OCVAC開設30周年記念事業(2月26日開催)では、9つのテーマの分科会を開催し、参加者は、各分科会に分かれ、実践報告、ワークショップなどを通してこれからの大阪のボランティア・市民活動について考えました。今号では5つの分科会を振り返ります。

分科会5

「関き塾」オープンキャンパス！
「飛び地」に集った私たちの
「ビフォー&アフター」

浴衣姿で首からタオルをかけ、参加者を「関き塾」の世界へと誘うのは、この日の進行役を務める関き塾1期生の成松秀夫さん、5期生の栗田夏来さん。「関き塾」とは、多様な年代・背景の市民が、日常生活で所属している場と異なる第3の居場所「飛び地」に、地域や社会の悩みごと・困りごとに対して取り組みたいことを持ち寄り、解決



全員参加で一歩踏み出すための知恵を出し合います

のため行動する一歩を踏み出す実践型の市民塾です。

平成24(2012)年に開校して以来の歴代の塾生が、受講する前とその後の変化を語る「関き塾生ビフォー&アフター」。グループワークが始まるとまるで銭湯にきたかのような熱気に包まれます。参加者は、塾生が入塾した経緯や「飛び地」をつくるきっかけなどの話に聞き入りました。また、学校や職場とは違う新しい自分を発見し、どんな「飛び地」をつくりたいかを紙に書き出しました。これは応援したい、共感したという発表者を囲

んで、実現するための知恵を出し合うプログラムで、関き塾の醍醐味である「仲間と最適解をつかむ」「具体的なアクションを起こすための一歩を踏み出す」という体験を全員で行いました。

■登壇者

- 事例発表1 松永 貴美 関き塾1期生
- 事例発表2 福田 竜一 関き塾2期生
- 事例発表3 園田 一貴 関き塾3期生
- 事例発表4 中村 増美 関き塾4期生
- 事例発表5 井上 雅美 関き塾5期生
- 進行担当 成松 秀夫 関き塾1期生
- 進行担当 栗田 夏来 関き塾5期生

分科会6

HOW TO ボラセン
主體的な参加や協働を
どう運営に活かしていくか

区社協のボランティア・市民活動センター化が始まって5年。看板は、ビュローからボラセンに変わったが、果たしてボランティア活動や市民活動を活性化することができているのか。関西学院大学人間福祉学部



ボランティア主体のセンター運営について考えます

非常勤講師岩本裕子さんがコーディネートとなり、住吉区ボランティア・市民活動センター、宝塚市社協ボランティア活動センター、大阪ボランティア協会の具体的な事例を通して、住民参加によるボラセン運営のあり方について考えました。

交流スペースの運営をボランティア自身がすることにより自主性が向上した事例、ボランティア自らが助成金の分配に参加する事例などが発表され、ボランティアが中心となり動くことが活性化には欠かせないと確認しました。また、ボランティアが顔を合わせる機会の多いセン

ターは連携が強く、みんなが当事者の気持ちとなって動けるという話がありました。

事例発表後、各自のボラセンをセルフチェックする「リーダーチャート」を記入し、グループで発表。和やかな雰囲気の中にも、参加者それぞれのボラセンへの熱意を感じる有意義な時間となりました。

- 登壇者
コーディネーター
岩本 裕子
関西学院大学 人間福祉学部 非常勤講師
- 実践報告1
荒木 澄美
宝塚市社協ボランティア活動センター 所長
- 実践報告2
永井 美佳
大阪ボランティア協会 事務局長
- 実践報告3
吉田 美幸
大阪市住吉区社会福祉協議会 主査

分科会7

都市災害への備えを地域の
見守りの力につなげる！
『LODE(ロード)』と
『曼荼羅チャート』を実践して
みませんか？

北は北海道から南は沖縄県
まで、老若男女幅広い年齢層が



災害時を想定し、対応をグループで話し合います

参加し、防災への関心の高さがわかります。ここではマンションなどの集合住宅の各部屋を記したシートを用いたグループワークや、曼荼羅チャートを活用しながら要援護者対応のポイントを確認することで、「公助、共助、互助」の中から特に「互助」の観点を話し合いました。

LODE(ロード)※は、災害時に起こり得るシーンをシミュレーションし、どのように近所の人と助け合いながら避難するかだけでなく、どう日常生活の一部として実践していくかをグループ内で話し合う手法です。

「東日本大震災の時に高齢者が困ったことは？」などの質問を考えます。避難所で、「食べる(入れ歯)」、「見る(メガネ)」、「聞く(補聴器)」がないために、心身ともに大きく不調をきたした人が大勢いたという話がありました。また、実在の団地をモデルにした津波避難の想定では「津波は何m? 築何年?」という質問を受け、みんなでディスカッションし、班ごとに考えた対策を共有しました。隣の人が何をしているか、どんな気遣いが必要かの再認識をする機会になり、要援護者の把握と必要な支援、平時にコミュニケーションをとり、見守り助け合いができる地域づくりをすることが大切だと、参加者全員で共有しました。

■登壇者

講師

南部 美智代

特定非営利活動法人 災害ボランティアネットワーク 鈴鹿 理事長

講師

倉原 宗孝 岩手県立大学総合政策学部 教授

進行

橘 宜孝 生きる力を育む研究会 幹事

※Little people, Old people, Disabled people, Evacuationの頭文字を合わせたもので住民全体で避難に必要な準備を進めるための手法です。

分科会8

伝えたい ぼくの／わたしの
ボランティア

若者と地域の関わり方を考える

高校生、大学生、専門学校生といった若者はボランティア活動をどう楽しみ、活動に何を求めているのかを3つの事例をもとに考える分科会。大阪保健福祉専門学校(淀川区)の学生からは、ボランティアを通して、福祉現場を知り、相談援助技術を実践的に学ぶことができた、地域のまつりに参加し、学生が中心となり、企画や準備



少し緊張気味の学生たち、でも自分たちの言葉でしっかりと報告しました

に関わることができ、地域について理解が深まったという話がありました。

また、大阪府立大学(堺市)のボランティア・市民活動センターV・stationでは、登録しているメンバーに、月1回ボランティア情報をLINEやメールで配信していること、教育支援ボランティアや、地域の子どもたちをキャンパスに招いてクリスマス会を実施したことや、熊本地震の復興支援活動で、布袋にメッセージを書いて送ったという事例が発表されました。

最後に英真学園高等学校(淀川区)からは、東日本大震災の被災地に、学園祭のバザーの収益金で購入した絵本をホッとネットおおさか(大阪府下避難

者支援団体等連絡協議会)が行する里帰りボランティアバスに生徒が同乗し、石巻市の仮設住宅に届け交流した様子を報告。学生たちは、既存の活動の手伝いをするだけでなく、みんなで作り上げることに達成感を感じていること、ボランティア活動が自分が専攻する学科と関連して現場を知り実践する機会になっていたことを参加者と共有しました。

分科会9

『多文化共生～内なる国際化～』
『外国から来た子どもから大人まで、みんな仲間です』

外国にルーツを持つ人々をサポートする3団体からの活動報告に加え、海外から日本に来て暮らす3人がそれぞれの思いを語りました。特定非営利活動法人多文化共生センター大阪がサポートする西淀川区の外国にルーツを持つ子どものための学習支援教室「きらきらは、外国人保護者の悩みや不安を解消し、子どもが自ら学ぶ力、自立する力を大切にしていきます。

また、NPO法人おおさかこども多文化センターが大阪

市交通局の協力のもと行っている、訪日観光客への高校生の通訳ボランティア活動を紹介後、実際に活動している高校生2人は「自信につながった」、「自分を見つめることができた」との感想や大学進学後の将来の夢を語りました。

特定非営利活動法人国際交流の会とよなか(TIFA)では、日本語教室や子育てサロン、カフェ「サパナ」の運営など、在住外国人の日常的なサポートを行っています。

母国の家庭料理を提供して



体験談を語るカフェ「サパナ」のシェフ 海野パティさん(左)、
特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA)事務局長 筒井百合子さん(右)

いるカフェ「サパナ」のシェフとして活躍している海野パティさんは、団体からの支援、地域の応援もあり「今まで助けてもらって側だったけど、ボランティアをして、人のことを考えるようになった。人のためだけでなく、自分のためになっている」と、支援される側から支援する側に役割がシフトしています。

地域で安心して暮らすため、近所で助け合う関係が大切でそれが「内なる国際化」の一步になると参加者と確認しました。

登壇者

実践報告1

東山 明未

大阪府立大学

竹村 千秋

大阪府立大学

実践報告3

林 誠二

英真学園高等学校

片岡 優香

英真学園高等学校

実践報告2

石澤 宜子

大阪保健福祉専門学校

松川 郁弥

大阪保健福祉専門学校

登壇者

コーディネーター

藤本 伸樹

一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)研究員

実践報告1

米澤 千昌

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪

実践報告2

橋本 義範

NPO法人 おおさかこども多文化センター事務局長

大阪府立高校に通う高校生2人

実践報告3

筒井 百合子

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA)事務局長

海野 パティ

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA)

使ってみよう!! 大阪市市民活動総合ポータルサイト



市民活動団体やNPOで活動している人

ポータルサイトに登録すると、自団体のボランティア募集やイベント情報を発信することができます。また、団体運営に必要な助成金やスタッフのスキルアップのための講座情報を調べることができます。まずは、団体登録してみましょう!

ボランティア活動をやりたい人

ボランティア募集や大阪市内の各地で開催されている交流会の情報などを探すことができます。あなたに合った活動が見つかるかも!

大阪市市民活動
総合ポータルサイト



団体登録は
こちらから



第5回地域こども支援団体連絡会を開催します

大阪市ボランティア・市民活動センターでは、子どもの支援活動に関わる団体が、お互いの活動やノウハウを共有し、地域の中で子どもたちを支えるネットワークの形成をめざして連絡会を開催しています。

- 日時** 平成29年6月20日(火) 午前10時～正午
- 会場** 大阪市立社会福祉センター3階 第3・4会議室
- 対象** 子どもの支援活動を行っている団体、これから始めようとしている人
- 講演** 「子どもの貧困と学校(仮題)」
講師／
桃山学院大学社会学部 准教授 金澤ますみ
- 情報提供**
 - ・「助成金申請」のコツ
 - ・「ボランティア・市民活動行事保険」(こども食堂での利用)について
- 担当** 大阪市ボランティア・市民活動センター
- 〇こども支援に関する情報交換**

今後の予定

- 第6回 平成29年8月17日(木) 午前10時～正午
- 第7回 平成29年10月11日(水) 午前10時～正午
- 会場はいずれも大阪市立社会福祉センター
- 〇申込・問合せはP14参照 (担当:小野)



毎回、こども食堂や学習支援などを行っている多くの団体が参加しています

今回は、NPO法人西淀川子どもセンター代表理事の西川日奈子さんから、同センターで行われている子ども相談室やぼびんず文庫、夕食づくり活動や学習支援などを含む夜間サテライト事業などの取り組み紹介がありました。

ボランティア活動総合補償制度のご案内

(引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社)

大阪市ボランティア・市民活動センターと、
各区ボランティア・市民活動センター／ボランティアビューローでご加入いただけます。

ボランティア活動保険 (団体単位で加入)				
補償概要		ボランティアがボランティア活動中に、 ①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」		
加入対象		無償活動であること(交通費実費等は除く) 活動のための会議や往復途上も含む 自助活動は補償対象外		
保険期間		毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入は受付日の翌日から)		
補償内容		Aプラン	Bプラン	Cプラン (天災担保)
傷害 保険 部分	死亡保険金	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,000万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,300万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,300万円
	後遺障害 保険金			
	入院 保険金	5,500円 (日額)	10,000円 (日額)	5,500円 (日額)
	手術 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額		
	通院 保険金	2,500円 (日額)	5,000円 (日額)	3,000円 (日額)
賠償 部分	対人 対物 共通	1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		
年間保険料 (1人)		300円	500円	600円

ボランティア・市民活動行事保険 (行事単位で加入)							
補償概要		ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②主催者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。					
加入対象		ボランティア団体や市民団体が主催する行事(スポーツ団体や自助団体も含む) ※氏名・住所・電話番号を記入した名簿の備え付けが必要です。					
保険期間		行事期間中 (開催日前日までに受付が必要)					
補償内容		Ⅰ型(宿泊なし)		Ⅱ型(宿泊あり)			
傷害 保険 部分	死亡保険金	500万円		400万円			
	後遺障害 保険金	20～500万円		16～400万円			
	入院保険金	3,000円(日額)					
	手術 保険金	入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額					
	通院保険金	2,000円(日額)					
賠償 責任 部分	対人	1人あたり 1事故あたり		最高1億円 最高2億円			
	対物	1事故あたり		最高500万円			
保険料 (1人)		Ⅰ型		Ⅱ型			
		A区分	30円	1泊2日	227円	4泊5日	340円
		B区分	134円	2泊3日	279円	5泊6日	348円
		C区分	262円	3泊4日	287円	6泊7日	356円

※このほか、非営利・有償活動団体保険、移送中事故傷害保険もあります。

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階(伊藤忠ビル)

TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686

なにわ語り部の会 35周年記念

◆語りはあなたそのもの、

私そのもので語ればよい

なにわ語り部の会

「いつでもどこでもお話を」の思いで図書館や各種施設、学校園などに民話・童話などのお話を届けてきた「ボランティアグループなにわ語り部



淡路地域福祉生活支援センター（ノーマライゼーション協会）の会場は満席に

の会」の35周年記念行事を4月に開催しました。大阪ボランティア協会主催の語り手講座の1、2期の受講者をはじめ昨年の38期生まで参加。現在会員は180人を超えているということ、会場は熱気いっぱいでした。

初めに35年間の活動の歩みが紹介され、その後「ふしぎなオルガン」「春のお客さん」「たぬきのおんがえし」「わらしべ長者」の語りが次々にくりひろげられました。いつの間にか時のたつのも忘れ、語る声のふんわりとしたやわらかさが心に届きました。「ライフワークを探していて語りに出会えた」「子どもや孫にお話を語りたいと思って始めた」「お話の隅々までイメージして聞き手に届けられるように実



井岡明子さん



禅定正世さん



辻瑛子さん



久保三也子さん



山本由紀子さん



鎗栄美子さん

際にその場に行つて、雰囲気を感じとるようにしている」「語りは一枚のタペストリーのように昔の人から伝えられて来て、お話が経（たていと）、今の私が緯（よこいと）。紡いで後世につないでいきたい」などその人、その人の語りとの出会い、向きあい方があるようです。

後半の語り手は、会の創始者で語り歴約50年の禅定正世さん。「今の自分の気持ちにぴったりの山室静訳『ジャックと豆の木』に出あい、この日のために特に準備して来ま

した」と言いながら語りが始まると、会場全体が物語の世界に引き込まれていくようでした。「想像力であそび、楽しみ、自分自身に話を聞かせている」と禅定さん。お話を覚えて口先だけで語るのではない、体全体を通して表現するその人の歩んできた人生を背負った語りです。

これからも多くの子どもたちや大人に語りの輪がさらに拡がって行きますように。

ときどき「記者」久保田陽子

※今年6月から開催する第39回お話の語り手講座の詳細は、情報マーケットP11参照

クラスボランティア募集 平日 土日祝

大阪YMCA国際専門学校

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/>

下記の4つの部門で、生徒のケアや学習のサポートをしてくださるボランティアを募集しています。生徒たちに寄り添う活動にご興味のある人はご連絡ください。

- ① 高等課程 表現・コミュニケーション学科(表コミ)**
不登校の生徒をはじめ、人との関係を築くことを苦手とする生徒や、自分のペースで学びたい生徒を対象に、出会いと学びの場を提供していく高校です。
- ② 高等課程 国際学科(HIS)**
英語に特化したカリキュラムで、実用的な「書く・読む・聞く・話す」の4技能を身につける高校で、在籍生には、日本で生まれ育った生徒以外にも、外国籍や海外帰国生がいます。個性や多様性を尊重する比較的自由な校風です。
- ③ サポートクラス**
学習や社会性につまずきを持つ子どもたちの全体的な発達をサポートすることを願って作られたクラスです。
- ④ J-IVY**
不登校傾向、自分のペースで学びたい、という中学生の学習・対人面においての自信の回復、在籍中学校への復帰を目指しサポートをしていくクラスです。

日程 ①・②・④ 毎週 月～金曜日 午前9時～午後3時40分の間で
※午前または午後の固定の時間にご参加いただきます
③ 毎週 火～金曜日 午後3時30分～7時30分
土曜日 午前9時～午後6時30分の間で
※固定の曜日・時間にご参加いただきます

場所 大阪YMCA国際専門学校4階(西区土佐堀1-5-6)

人数・条件 ●18歳以上で生徒を理解し、受けとめようとしてくださる人
交通費支給(学生は全額支給・社会人は上限1,000円まで)

申込方法 電話・Eメールにてお問合せください

お問合せ先▼

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ① TEL/06-6441-1123 | Eメール hyogen-com@osakaymca.org |
| ② TEL/06-6441-0848 | Eメール osakaymca-ihs@osakaymca.org |
| ③ TEL/06-6441-5070 | Eメール supportclass@osakaymca.org |
| ④ TEL/06-6459-1771 | Eメール j-ivy@osakaymca.org |

情報マーケット Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・セミナー・
講座などの情報



その他、助成金
などの情報

『繁栄ワイワイ市場』ボランティア募集! 土日祝

繁栄商店街振興組合

<https://ja-jp.facebook.com/idadenhanei/>

繁栄ワイワイ市場「小物手づくりフェア&ゲームイベント」を開催!いろいろなゲームのブースを出店します。楽しみながらお手伝いいただけるボランティアを募集します。
※毎月第1土曜日(午前10時～午後4時) 繁栄商店街に美味しいものや手づくり品など、楽しい露店が並ぶイベントです

日程 6/3(土)午前10時～午後4時

場所 繁栄商店街(港区南町3-11-8)
※JR・地下鉄「弁天町」駅より徒歩7分、市バス「市岡元町」バス停より徒歩1分

人数・条件 ●高校生以上 6人 昼食は支給します

申込方法 電話・Eメールにて ※住所・氏名・年齢・連絡先をお知らせください

お問合せ先▶ ふとん館ひらのや TEL/06-6583-0326(第2・第4水曜日休み)
Eメール hiranoya4149@yahoo.co.jp (担当:中西)

発送作業のお手伝いをしていただける人 募集! 土日祝

大阪頸髄損傷者連絡会

月に1回程度、会報や行事案内などの発送作業をお手伝いして下さる人を募集しています。封筒詰めや宛名シール貼りなど、簡単な作業です。お気軽にご参加ください。

日程 6/11(日) 午前10時～12時30分、7/9(日) 午前10時～12時30分

場所 大阪頸髄損傷者連絡会事務所
(都島区中野町3-4-21 ヘルエキップ・オグラ1階 自立センターある内)
※JR「京橋」駅・地下鉄「都島」駅より徒歩13分

申込方法 電話・Eメールにて(できればEメールでお願いします)

お問合せ先▶ TEL/080-2446-3084

Eメール nekemasa@docomo.ne.jp(担当:中塔)

『UD街あるき』勉強会開催のお知らせ 土日祝

UD街あるき

<http://kyoyohin-kansai.org>

私たちは、商業施設や駅などのユニバーサルデザイン調査を実施して、街の良いところ探しを行っている市民団体です。

〈勉強会内容〉
・自立生活を支えるためのUD(ユニバーサルデザイン)
・「UD街あるき」の活動紹介 など 講師:UD街あるき会員 左田洋一(ほか)

日程 6/24(土) 午後5時30分～7時30分

場所 まちライブラリー@もりのみやキューズモール(中央区森ノ宮中央2-1-70)

人数・条件 ●募集人数:15人 参加費:1,000円(ドリンク代500円含む)
自己紹介を兼ねてお勤めの本を紹介していただきますので、ご持参ください
(本についてはお持ち帰りいただくか、まちライブラリーへの寄贈となります)

申込方法 Eメールにて 締切:6/20(火)

お問合せ先▶ Eメール info@kyoyohin-kansai.org

児童保育・学習ボランティアさんを募集しています! 平日 土日祝

(社福)大念仏寺社会事業団 ボ・ドーム大念仏

<http://www.dsw.or.jp>

学校から帰ってきた子どもたちと一緒に宿題をしたり、遊んだりする、ボランティアさんを募集しています。少しでも興味のある人は、お気軽にお問合せください。

日程 月～土曜日の放課後など

場所 大念仏寺社会事業団(平野区平野上町1-7-3)

人数・条件 ●募集人数:5人 子どもと楽しくかわかって頂ける人
児童福祉施設にご理解のある人
動きやすい服装で 上靴が必要

申込方法 電話・Eメールにて
※まずはオリエンテーションにて、活動の説明と調整をさせていただきます

お問合せ先▶ TEL/06-6791-5410(ボ・ドーム大念仏 ボランティア担当)
Eメール dome-d@dsw.or.jp

ハンドベルメンバー募集 平日

ベルリンガーズ “ミルフィーユ”

天使の声に例えられるイングリッシュハンドベルのグループです。全員で1つの楽器を皆さんと一緒に演奏します。ティサービス・老人ホーム・病院・幼稚園などで演奏活動をしています。体験・見学はいつでもOKですのでお気軽にご連絡ください。

日程 毎週月曜日 午前10時～正午

場所 中山音楽教室(東住吉区駒川11-5-17)
※近鉄南大阪線「北田辺」駅より徒歩2分、JR「美草園」駅より徒歩7分
地下鉄「文の里」駅より徒歩12分

人数・条件 ●女性 初心者の人でも大歓迎です

申込方法 電話にて

お問合せ先▶ TEL/06-6713-0558(中山)



▲今年2月開催の第6回「わくわく関西カップ」
大阪府立体育館（エディオンアリーナ大阪）

お問合せ先▶ わくわく楽しいレスリング教室

Eメール wakuwaku33nk@gmail.com

このコーナーでは、情報マーケットで掲載したことのある団体の声を集めています!

※ボランティア募集後の反響、活動の内容などいくつかの質問にお答えいただき、掲載可能な写真をご提供ください。ご協力可能な方は、当センター情報誌COMVO編集室までTEL又はEメールにてお問合わせください(P14参照)



ここでは、過去に
“情報マーケット”で掲載した
団体の声をご紹介します!

団体名 わくわく楽しいレスリング教室

Q どんな活動をしていますか?

A 日頃、京都府立京都八幡高校レスリング部を練習場所に「ダウン症児・者のレスリング教室」をしています。年2回、全国大会を開催しています。

Q ボランティアの活動内容をおしえてください。

A 大会でのレスリングマットの設置です。レスリングのマットは、レスリングシートの下に畳より少し弾力のあるマットを敷き詰めて上からシートをかけます。マットを敷きつめる際、多くの人数で協力して空気を抜きシートを留めます。

Q ボランティアが参加したことで良かったことをおしえてください。

A 72枚のマットを決まった方法で隙間なく敷き詰めるのが大変ですが、ボランティアさんに手伝っていただき、早く作業が進みました。「以前から、興味があった。また来年も参加したい」と興味を持っていただきました。

幼児(4~6歳)といっしょに遊びませんか? 土日祝

京阪神ボランティアサークル“稲穂”

<http://www.hakuaisha-welfare.net>

児童養護施設の子どもたちと月1回外出し、ボランティアリーダーと一緒に遊ぶプログラムです。子どもたちが安全に楽しく遊べるよう、サポートしてください。保育士も引率するので、お気軽にご参加ください。

日程 毎月第1日曜日(GW中は第2日曜日)
午前10時30分~午後4時(前後にミーティング有り)
※単発での参加も大歓迎です

場所 主に阪急電鉄・バスの沿線(大阪・神戸など)

人数・条件 ●子ども好きの人 初心者・高齢者 大歓迎です
※交通費・昼食は自己負担をお願いします

申込方法 電話・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/070-5666-4957

Eメール kanta@ark.ocn.ne.jp(担当:家守)

シニア劇団のマネージャーになってみませんか? 平日

スティックシアター

<http://www.facebook.com/StickTheater/>

関西を一元にシニア劇団を増やす活動をしています。演劇ワークショップの手伝いのほか、活動の様子を本部に報告したり、フェイスブックに掲載したりしていただきます。演劇の裏側を知るチャンスかも!

日程 6月~9月までの火曜日 午後2時~4時

場所 大阪市(北区・住之江区)、堺市、大東市など

人数・条件 ●大阪市内もしくは、大阪市以南に在住の人
パソコンのメールですぐに返信ができる人
交通費支給

申込方法 Eメールにて

お問合せ先▶ Eメール stick_theater@yahoo.co.jp(担当:朝日)

お化け屋敷やヒーローショーでボランティア!? 平日 土日祝

A-yan!!関西をアートで盛り上げるNPO

<http://a-yan4649.com>

地域イベントや公共施設の催事等で、みんなが元気になるお芝居やおばけ屋敷をやっています。「あなたもヒーロー、悪役、おばけになってみませんか?」殺陣もありますが初心者でもOK! 衣装、メイク、小道具、撮影、音響など裏方も大歓迎!

日程 練習会・打ち合わせ等は月1~2回程度、主に日曜日の午後
参加イベントについては随時 土・日・祝日が多いですが、平日開催も有り
(午後1時~5時ごろ)

場所 打ち合わせ・練習場所は主に生野区内で行っています
また随時、開催・参加のイベント会場及び近隣で行うこともあります

人数・条件 ●当団体の活動に興味のある人ならどなたでも
ボランティア活動保険に加入してください(年間:500円)

申込方法 Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/090-3656-1618

Eメール info@a-yan4649.com(担当:泉田)

一緒に走ってみませんか? ~ 土日祝

視覚障害者マラソン練習会 長居わーわーず

<http://waawaas.sakura.ne.jp>

ブラインドランナーは、伴走者のサポートがなければ走ることができません。皆さんが1人で走っていらっしゃる時間の内、少しを私たちと一緒に走ってくださいませんか?ほんの少しの心配りさえあれば、どなたにでも可能です。

日程 毎月第2・第4日曜日 午前9時30分~正午ごろ

場所 長居公園内周回コース(東住吉区长居公園1-1)
※午前9時25分に長居障がい者スポーツセンター前にご集合ください

人数・条件 ●ランニングやウォーキングが好きな人(速く走る必要はありません)
走れる服装でご参加ください 協力金(100円)が必要です

申込方法 HPの「わーわーすのメール(連絡フォーム)」から

お問合せ先▶ <http://waawaas.sakura.ne.jp/?cat=8>

 知っ得!なっ得!「わいわいトーク」 & 手づくりしながら「ゆるゆるトーク」 **平日**

NPO法人 暴力防止情報～スペース・APIS(アピス) 
<http://www.apis-npo.org>

時間の流れが早くなってきたように感じるこの頃... 私のこと、子どものこと、親のことなど、不安な気持ちになったり、ストレスを感じたりしていませんか? みんなであれやこれや話したり、手作りをしたりしてリフレッシュしませんか? 興味のあるテーマやクラフトワークにご参加ください。

《知っ得!なっ得! わいわいトーク》

日程 6/16(金) 午前10時～正午 「他人から見える自分ってどんなかな?」
 ・自分って他人からはどんな印象にみえているかな
 8/18(金) 午前10時～正午 「お楽しみ会」
 ・手づくりして、リフレッシュしませんか
 9/15(金) 午前10時～正午(予定) 「美顔つぼマッサージ」
 ・顔のツボを知って、リフレッシュしよう

場所 大阪市立西区民センター 第1会議室(西区北堀江4-2-7)

《手づくりしながら ゆるゆるトーク》

日程 7/6(木) 午前10時～11時30分
 ・「リメイクBOX」 空き箱を自分流にリメイク、何に使おうかな...
 10/12(木) 午前10時～11時30分
 ・「ミニリース」 アケビののるの輪を素紙に飾ってみよう!
 2018年1/11(木) 午前10時～11時30分
 ・「飛び出すカード」 かわいいあやうの飛び出すカードを作ろう!

場所 井戸端ステーション2階 B会議室(都島区都島南通2-14-29)

人数・条件 ●各回定員:10人 参加費:各回500円(資料・材料・茶菓子代)
 ※お子様連れも大歓迎!(プレイスペースを設けています)

申込方法 FAX・Eメールにて
 ※ご希望の講座名・氏名・電話番号・メールアドレスをお知らせください

お問合せ先 ▶ TEL/06-6924-5551 FAX/06-6924-5556
 Eメール npo-apis0601@kiki.biglobe.ne.jp

 地域コミュニティと女性のリーダーシップ～復興支援の現場から～ **土日祝**

大阪市立男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央) 
<http://www.creo-osaka.or.jp/chuou/index.html>

被災地3県で活動する女性を対象とした次世代女性リーダー育成事業「ガラスルーツ・アカデミー東北」を主催する NPO法人ウイメンズアイ代表理事の石本めぐみさんから、女性のリーダーシップ育成と女性リーダーが地域コミュニティに与える影響について学びます。

日程 6/17(土)午後2時～4時

場所 クレオ大阪中央(天王寺区上汐5-6-25)
 ※地下鉄「四天王寺前站陽ヶ丘」駅より徒歩約3分

人数・条件 ●定員80人(申込先着順) どなたでも 参加費:無料 手話通訳有り(要予約)

申込方法 TEL・FAX・来館・HPの申込フォームより

お問合せ先 ▶ TEL/06-6770-7200 FAX/06-6770-7705

 **当事者本人“生の声”での講演会
 性同一性障害の私が 自分らしく人生を歩めたのは...** **土日祝**

Life hospitality management service 
<http://lhms.jp>

「どのような苦労があるの?」「どのように生活しづらいの?」「どのような社会の障害があるの?」「どのように克服したの?」「どのような自分らしさなの?」など、過酷な人生問題の荒波から自分らしさを手に入れたエピソードを紹介します。

日程 6/17(土)午後2時～4時30分(開場:午後1時30分～)

場所 大阪市立住吉区民センター 2階 図書館棟 集会室1(住吉区南住吉3-15-56)
 ※南海高野線「沢ノ町」駅より徒歩5分

人数・条件 ●定員29人(申込先着順) どなたでも 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメールにて
 ※住所・氏名(団体名)・参加人数・連絡先をお知らせください

お問合せ先 ▶ TEL/080-8322-5530 FAX/06-7635-8664
 Eメール info.lhmservice@gmail.com(担当:山崎)

 平成29年度 大阪府ITサポーター養成研修会 受講者募集!! **平日**

大阪府ITステーション 
<http://www.itsapoot.jp/>

障がい者のパソコン講習会の講師や、パソコン個人指導など、ITサポーターとして活動してみませんか?

日程・場所 第1回 5/25(木)・26(金) 午前9時30分～午後4時30分
 第2回 7/4(火)・5(水) 午後9時30分～午後4時30分
 場所:大阪府ITステーション(天王寺区六万町3-21)
 第3回 8/24(木)・25(金) 午前10時～午後5時
 場所:国際障害者交流センター ビック・アイ(堺市南区茶山台1-8-1)

人数・条件 ●各回15人(応募多数の場合は抽選) 受講料無料
 府内に在住・在勤・在学(高校生不可)等で、18歳以上、当方の活動にボランティアとして協力可能で、養成研修のいずれかの日程に参加可能な人
 パソコンスキル(ファイル操作・メール・Word・Excel等の基本的操作)を有している人

申込方法 HPより受講申込書をダウンロードの上、郵送・FAX・メールにて
 締切:第1回 5/21(日)、第2回 6/20(火)、第3回 8/13(日)

お問合せ先 ▶ TEL/06-6776-1238 FAX/06-6776-1231
 Eメール sapoken@itsapoot.jp

 第39期 お話の語り手講座 受講生募集 **土日祝**

なにわ語り部の会 

いにしえから庶民の文化として語り継がれてきた「民話」「童話」を、あらゆる場所で語り継ぐ活動が「お話の語り手」です。この講座では、感動を伝える技術を学ぶとともに、地域でできる語りのボランティア活動を考えます。

日程 6/3～9/30(各月の土曜日) 2～3回 午前10時～正午 全10回講座

場所 大阪ボランティア協会 市民活動スクエア CANVAS谷町(中央区谷町2-2-20 2階)

人数・条件 ●定員:30人(先着順)お話の語りを通して、ボランティア活動や仕事に活かしたいと思っている人(年齢・性別は問いません)
 参加費:10,000円(テキスト代含む) 初回受付時に徴収します

申込方法 Eメールにて 締切:5/25(木)
 ※郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・メールアドレス・職業・参加動機をお知らせください 受講通知をお送りします

お問合せ先 ▶ TEL/090-4303-0434
 Eメール naniwakataribenokai@gmail.com

 第三回「生涯学習学校支援士」養成講座 受講者募集 **土日祝**

特定非営利活動法人 大阪生涯学習推進協議会 
<http://r.goop.jp/manabiosaka>

「学校の応援をしてみたい」、「学校支援って、どうするの?」とお考えの皆さまに、「一般の方が学校に入るといこと」や、学校支援に役立つスキルや知識を学んで頂く講座です。全講座(4日間)を受講し、審査を通過された人には修了証書を授与します。

日程 6/3(土)、6/11(日)、6/18(日)、6/25(日) 各回午後1時15分～4時30分
 (修了証書授与式7/16(日))
 ※6/3の講義内容:「生涯学習について」、「生涯学習と教育」、「一般の方が学校に入るといこと」、「英語で話してみよう」その他の日程の講義内容についてはお問合せください

場所 大阪市立総合生涯学習センター 第一研修室(北区梅田1-2-2 大阪駅前第二ビル5階)

人数・条件 ●定員:各回60人(申込先着順) どなたでも 参加費:1,000円/1日
 ※資格取得希望の人は、講座修了後、面談審査あり(別途申請費必要)

申込方法 FAXにて 締切:各開催日の5日前(初回は5/30(火))
 ※住所・氏名(ふりがな)・電話番号・資格取得希望の有無をお知らせください

お問合せ先 ▶ TEL/090-8191-0033 FAX/072-878-3588

 ニュースを読む「SOS!こどもの貧困 ～こどもの問題はおとなの問題～」 **土日祝**

大阪市立男女共同参画センター南部館(クレオ大阪南) 
<http://www.creo-osaka.or.jp/south/>

今、日本の子どもの6人1人が貧困状態にあります。豊かなはずのわが国で、安心して食べて眠るという生活ができず、未来に夢や希望がもてない子どもたちが増えているのはなぜなのか。子どもの貧困を取材してきた記者が、その現実を伝え、みなさんと一緒に解決の糸口について考えます。

講師:山内 深紗子さん(朝日新聞大阪本社 生活文化部 記者)

日程 6/17(土)午後2時～4時

場所 クレオ大阪南 3階 研修室(平野区喜連西6-2-33)

人数・条件 ●定員:60人(申込先着順) テーマに関心のある人 参加費:無料
 手話通訳有り(無料・事前連絡必要) 一時保育有り(要予約・有料)

申込方法 TEL・FAX・来館・HPの申込フォームより

お問合せ先 ▶ TEL/06-6705-1100 FAX/06-6705-1140

第37回 緑の都市賞(都市の緑3表彰)

公益財団法人 都市緑化機構 <https://urbangreen.or.jp>

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている市民団体、企業、行政等を顕彰し、快適で地球に優しい生活環境の創出を促進を目的とします。詳細についてはHPをご参照ください。

募集部門 《緑の市民協働部門》

対象：主に市民団体(行政や企業との協働で実施している場合も含む)
内容：ボランティアを基本とした緑化活動で地域の社会や環境に貢献するもの
※その他、民間業者を対象にした《緑の市民協働部門》、行政(市区町村)を対象にした《緑のまちづくり部門》の募集も行っています

表彰 内閣総理大臣賞(1点)・国土交通大臣賞(3点以内)などの各賞有り
※賞状及び活動助成金などを進呈

申請方法 HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、緑化や緑の保全の成果が確認できる写真(15~20枚)及び資料を添えて、郵送してください
締切:6/30(金) 当日消印有効

お問合せ先 ▶ TEL/03-5216-7191 FAX/03-5216-7195
Eメール midori.info@urbangreen.or.jp

明治安田生命保険相互会社「地域支え合い活動助成プログラム」

一般社団法人 全国老人給食協会の事務局
<http://www.mow.jp>

高齢者が安心感をもって、地域で自分らしく暮らし続けるしくみづくりを後押しするため、高齢者福祉の観点で市民が主体となって地域で展開している地域福祉活動を対象に、活動環境の整備や新しい取り組みの創出を支援します。(総額150万円)

助成内容 ①【活動立ち上げ資金の助成】
・新たな団体で、活動を始める具体的計画があること(上限15万円)
②【備品購入資金の助成】
・現活動に必要備品が不足し、この助成により運営が円滑化・活性化されること
(全国老人給食協会会員団体 上限30万円、その他団体上限15万円)

助成対象 市民参加型のボランティア団体・NPO等の非営利団体が行う活動
(配食・会食サービス・孤立予防の居場所運営・見守り活動など)

申請方法 HPより申込書をダウンロードし、必要事項を記入、添付資料を添えて郵送してください ※締切 6/30(金) 必着

お問合せ先 ▶ 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21
TEL/03-5426-2547 FAX/03-5426-2548

平成29年度 子ども文庫助成 「子ども読書活動への助成金」「児童図書セット」を贈呈!

公益財団法人 伊藤忠記念財団
<http://www.itc-zaidan.or.jp/support.html?20161216>

今年も、子どもと本を結ぶ皆様を応援します! 詳細はHPをご覧ください!
応募(推薦)用紙をHPからダウンロードし、必要事項を記入のうえ郵送してください。
締切:6/30(金) 消印有効

- ① **子どもの本購入費助成**(助成金30万円) ※①と②併せて40~50件程
・子ども文庫又はその連絡会、読み聞かせ等で読書啓発活動をしている民間の団体又は個人
- ② **病院・施設子ども読書活動費助成**(助成金30万円)
・小児病棟、障害児施設、養護施設等で読書啓発活動をしている団体又は個人
- ③ **こどもの本100冊助成**(当財団が選んだ児童図書セット) ※20~30件程
・上記①②の対象共通
- ④ **子ども文庫功労賞**(賞金・賞品) ※2名以内
・子ども文庫を永年にわたり運営されてこられた個人で、子どもの読書啓発活動に貢献されてきた人(推薦)

提出先 ▶ ①~③:公益社団法人 読書推進運動協議会 子ども文庫係
〒162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内
TEL/03-3260-3071 Eメール itc-bunko@dokusyo.or.jp
④:公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1
TEL/03-3497-2651 Eメール bs-book@itc-zaidan.or.jp

ハロートレーニング「総務・経理事務科」(大阪府主催) 受講生募集 平日

SBキャリアカレッジ(Social Bridge Career College) 本町校 継続 V
<http://www.social-bridge.co.jp/college/>

障がいのある人を対象に職業訓練を行います。「ハロートレーニング」を通じて、仕事に必要なスキル(知識や技能)を身に付けませんか?
※ハロートレーニングは公的職業訓練の愛称です

日程 7/3(月)~8/31(木) 月~金曜日 午前9時40分~午後4時(全34回)

場所 SBキャリアカレッジ本町校(中央区南本町3-4-7第一住建御堂筋本町ビル9階)
※地下鉄「本町」駅①番出口より徒歩2分

人数・条件 求職中の障がいのある人(精神・身体・発達) 定員:15人(選考有り)
受講料無料 但し、教材費(7,236円)はご負担ください

問合せ方法 電話・Eメールにて 締切:6/5(月)

お問合せ先 ▶ TEL/06-6281-1667
Eメール sbinfo@social-bridge.co.jp(担当:田所)

平成29年度 幼児・学童・思春期のこどもの発達相談会 土日祝

NHK厚生文化事業団近畿支局
<https://www.npwo.or.jp> 単

こぼの遅れや発達に障がいのある子ども(満3~18歳まで)と、その保護者を対象にした無料の相談会を開催します。こぼの習得が遅い、対人関係がうまくいかないなど、各分野の専門家が個別の相談に応じます。

日程 年6回 毎回午前10時~午後3時(1組50分)
(5/28、7/9、9/10、11/12、1/21、3/11、全て日曜日)

場所 NHK大阪放送局 会議室(中央区大手前4-1-20)
※地下鉄「谷町四丁目」駅②・③号出口すぐ

人数・条件 申込先着順 参加費:無料 ※申し込みは保護者(親)に限ります

申込方法 電話にて ※各回とも開催日2ヶ月前の月の1日より受付開始

お問合せ先 ▶ TEL/06-6232-8401(平日:午前10時~午後6時)

第11回 よみうり子育て応援団大賞

読売新聞大阪本社「よみうり子育て応援団大賞」事務局
<https://info.yomiuri.co.jp/contest/lfmd/kosodate.html>

優れた子育て支援に取り組む団体を表彰し、充足したばかりのグループも応援します。幅広い団体の応募をお待ちしています。

対象 子どもや親を対象にした支援活動を行う国内の民間のグループや団体
※どのようなテーマの活動でも可 活動年数やメンバー数問わず

表彰 大賞(賞金200万円)1団体、奨励賞(同100万円)2団体、その他、選考委員特別賞(同20万円)を選出

応募方法 HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、資料を添えて郵送してください(FAXでも可)
締切:6/9(金) 必着 ※受賞団体は読売新聞で発表

お問合せ先 ▶ 〒530-8551 北区野崎町5-9
TEL/06-6881-7228(平日午前9時~午後5時) FAX/06-6881-7229

COMVO

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/S53168917/>



情報求む!

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp (担当:瀧辺・荒野・縄)

※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望発行月の前々月末日とします。
(例:平成29年7月15日発行号(8・9月号)に掲載希望の場合は5月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。
誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

～海外から日本へ～
**大阪の高校に学ぶ
 若者たち Vol.11**

season **2**

プロフィール

ヒラルル カンデル(ネパール)
府立高校3年生
 趣味: インドの映画を見ること

ナマステ
नमस्ते
 こんにちは



海外から来日、帰国して学ぶ高校生。複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
 (協力:NPO法人 おおさかこども多文化センター)

ネパールから2014年(平成26)4月に来ました。ネパールには電車がなかったので、日本で初めて電車を見て一番驚きました。日本で困ったことは漢字が読めなかったことです。授業では漢字でいつも苦労しました。1年生のときはあまり友達ができませんでした。2年生になってみ

んなが話しかけてくれて、新しい出会いがたくさんありました。今は地下鉄で通訳案内のボランティアを頑張っています。将来は英語をもっと勉強して、それに關する仕事をしたいと思っているので、IELTS(アイエルツ)*1の勉強にも力を入れています。

※1 海外留学や移住目的にした英語能力テスト

突撃取材のコーナー Season II

福祉ボランティア活動がより充実したものになるように、平成28年度、大阪市ボランティア活動振興基金を助成された団体を紹介します。

**子どもと女性をはじめ
 全ての人の暴力防止のために**

NPO法人 暴力防止情報スペース・APIS(アピス)

「夫の転勤が多く、自分自身どう子どもを育てていいのかわからず、人間関係に困っていました。そんな時に、子どもへの暴力防止CAP(※1)活動を始めました。ストレスがピークになる前に誰かに話して発散して、そのストレスが子どもに向かないようにすることが大事です」というのはNPO法人暴力防止情報スペース・APIS(アピス)の理事長 横山恵子さん。CAP受講者が集まり、1996(平成8)年から活動を始め、CAPのプログラム提供、子育て支援事業、講師派遣、無料の電話相談など啓発活動を行っています。

京橋中央商店街・井戸端ステーション(都島区)で開催する『ゆるゆるトーク』では、子育てに必要な知識や情報を伝え、悩みや不安を軽くしてもらうために、お茶を飲みながらおしゃべりしています。フラットワークなど楽しむ回もあります。

「うちの子、まだオネシヨするんだけど」「子どもが泣き止まず、虐待と間違われて通報された」とママ友にも言いづらいことを本



「世界でひとつのノート」づくりをしながら会話が盛り上がります

NPO法人 暴力防止情報スペース・APIS(アピス)
 〒534-0023 都島区都島南通2-4-21
 TEL:06-6924-5551 FAX:06-6924-5556
 無料電話相談 すっきりトーク
 月・金 10:30~16:00
 050-7570-6100(電話相談専用番号)
 HP: <http://www.apis-npo.org/>

音で打ち明けられる場になっています。「幼稚園や保育所の枠を越えた集まりを作りたかった」と、APISのメンバーの山田悦子さん。参加者を限定せず立ち寄れることをモットーにしています。なお、西区民センターでは同様の活動『わいわいトーク』がおこなわれています。(今後の内容はP11参照)ときどき、記者、岸本英治



佐々木さん、横山さん、後藤さん、山田さん(左から)

※1 暴力から逃れるための子ども自身の力を高める教育プログラム

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

③ ①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO217号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2017年6月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

大阪市と「地方創生に向けた包括連携協定」 を結びました

当金庫は2016(平成28)年11月、大阪市と、金融機関で初めて「地方創生に向けた包括連携協定」を結びました。この協定は、大阪市の24全区役所と各区に所在する当金庫45店舗が連携し、地域の課題解決と地元に着目したサービスの提供を通じて、地域の活性化、地域サービスの向上をめざすものです。

各店舗では区広報紙・防災マップ・区主催イベントのチラシ等の設置や、防災パートナー・災害時協力事業所・「こども110番の家」への登録、区の清掃活動への参加などに取り組んでいます。

2017(平成29)年2月には、岸の里支店と秋の茶屋支店が、西成区と連携協定を結び、当金庫が業務活動を通じて区民の異変を察知した場合などは、ガイドラインに沿って区役所や警察・消防などに通報します。

また淀川区では、「1」のつく日を「淀川区安全なまちづくり推進デー」としており、3月から同区にある加島支店の職員が青色の腕章をつけて、渉外活動と併せて見守り活動を行っています。



腕章を着用して見守り活動を行う職員

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	117×170
本文 1ページ	156,000円	257×182
本文 1/2ページ	85,000円	117×170
本文 1/5ページ	38,000円	48×162

※原稿は原寸大の完全原稿(ボジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要ですよ。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ ocvic@osakacity-vnet.or.jp

<http://www.osakacity-vnet.or.jp>

●開館時間:午前9時30分～午後8時30分(土曜日は午後5時まで)

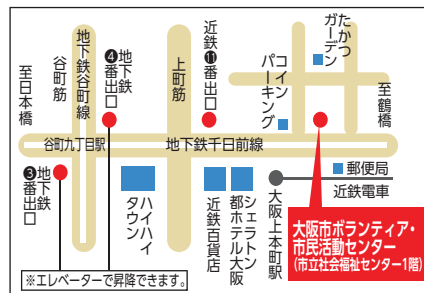
●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始

●発行日:2017年5月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部

●制作協力:商工印刷株式会社

本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能!
<http://comvo.lekumo.biz>

大阪市営地下鉄(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、近鉄電車(大阪難波・阿部野橋・大田上本町 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区協議)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫市内の店舗など

●スタッフブログ <http://ocvic.blogspot.jp>

●twitter <http://twitter.com/ocvic1998>

●Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティアビューロー	中央区上本町西2-5-25	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体的町5-26	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7	6478-2941	6478-2945
淀川区豊かな協働推進センター	淀川区三国本町2-14-3	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティアビューロー	城東区中央2-11-16	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20	6656-0080	6656-0083